

名古屋大学医学部附属病院

2026 年度 がん看護研修

ご案内



名古屋大学医学部附属病院 がん診療連携拠点病院事業

がん看護研修概要

1. 目的

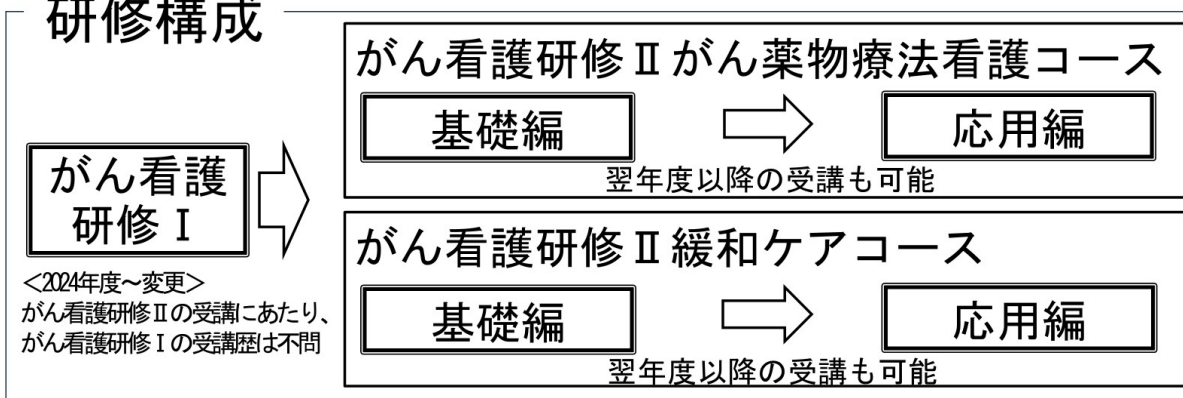
当院はがん診療連携拠点病院として、県内のがん医療に携わる看護師を対象にがん看護に関する研修を行うことにより、地域におけるがん看護の質向上に寄与することを目的とします。

2. 概要

本研修は看護経験や看護師のニーズに合わせて、がん看護を段階的に学ぶことができるようにステップアップする研修構成になっています(下図)。がん看護研修Ⅰは、がん看護の基本を学ぶ研修内容です。がん看護研修Ⅱは、緩和ケアコースまたはがん薬物療法看護コースを選択でき、それぞれのコースにおける専門的な知識を学ぶ研修内容です。各コースは基礎編で知識を習得し、応用編で習得した知識を実践につなぐ研修構成としております。

<問い合わせ先>名古屋大学医学部附属病院 医事課医事係（がん拠点担当）電話(052)741-2111（内線 5636）

研修構成



受講生の声（アンケートより）

がん看護研修Ⅰ

- 看護の基本的な部分を強化し、身体面だけでなく、社会的・精神的な面の理解につながった
- コミュニケーションスキルなど、現場で課題とされていることばかりですぐに活用できる

がん看護研修Ⅱ がん薬物療法看護コース

【基礎】

- 副作用症状とセルフケア支援は、今すぐ臨床で実践できる内容だった
- 患者の治療選択から、治療、治療中の支援や制度、退院や在宅に向けての援助方法や仕組みについて知ることが出来た

【応用】

- 訪問看護の方を含めた他施設の方と話し、自分にはない視点を学びました
- 基礎編、応用編で学んだことを事例で考えることができた

がん看護研修Ⅱ 緩和ケアコース

【基礎】

- 苦痛のある患者に対して、色々な側面からの対応のみならず、家族への支援についてもより深く学ぶことができた
- 終末期だけでなく日々がん看護に携わる毎日が緩和ケアだなと感じました

【応用】

- グループワーク、すごく良かったです。看護の共有は学びが深まります
- 患者の存在価値がわかるケア方法や、患者の自律を助ける支援など、実践に役立てたい

がん看護研修Ⅰ 研修計画	
研修目的	多様な状況にあるがん患者のQOLの維持・向上のために、がん看護の基盤となる考え方を理解できる
一般目標	1. がん看護の基盤となる考え方を理解し、多様な状況にあるがん患者を支援するための基本的知識を習得する 2. がん患者のQOLの維持・向上のための看護援助を理解することができる
行動目標	1. がん医療と看護に関する基本的知識を習得できる 2. がん患者のこころの変化を理解して基本的なコミュニケーションスキルを理解できる 3. がん医療における看護倫理について理解できる
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・ 実務経験1年以上 ・ 日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅰ以上※ ・ eラーニングによる受講が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	100名(先着順)
研修方法	eラーニング(オンデマンド配信)による講義
オンデマンド配信期間	2026年6月8日正午～7月6日正午
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
修了要件	講義eラーニングすべて受講、確認テスト合格
受講推奨環境	ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅰ 申込	
申込期間	2026年5月1日正午～5月20日正午(定員になり次第、申込は終了します)
申込方法	申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください https://x.gd/GzXbd 
受講方法	受講方法は、申し込み時に自動返信されるメールに添付いたします。 自動返信メールが届かない場合は、問い合わせ先までご連絡願います。

2026 年度 がん看護研修 I 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5 分	がん看護専門看護師 山本 陽子
腫瘍学概論	がん細胞の特徴（発がん過程、がん関連遺伝子など） がんの疫学、がんの予防と検診、がんゲノム医療	60 分	化学療法部医師 満間 綾子
がん医療と看護倫理	倫理の基本的な知識 がん看護における倫理的課題について	60 分	山本 陽子（前掲）
がん患者との コミュニケーション I	がん看護実践におけるコミュニケーション 基本的なコミュニケーションスキル	50 分	がん看護専門看護師 原 万里子
がん看護学概論 I	がんの病のプロセスを通して、がん患者が遭遇する喪失や危機的状況を理解する 喪失ががん患者に及ぼす影響について	60 分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
がん治療と看護	手術療法と看護	30 分	手術看護認定看護師 小島 和明
	放射線療法と看護	30 分	岡嶋 彩乃（前掲）
	がん薬物療法と看護	30 分	がん薬物療法看護 認定看護師 森田 まゆみ
	緩和ケア	30 分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理

がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎編 研修計画	
研修目的	がん薬物療法の特性を理解し、薬物療法を受ける患者に必要な看護援助を理解できる
一般目標	1. がん薬物療法の特性を理解し、がん薬物療法看護に必要な基本的知識を習得する 2. 多様な状況にあるがん患者を支援するための基本知識を習得する
行動目標	1. がん薬物療法の基本概念について理解できる 2. がん薬物療法看護の特徴と看護師の役割について理解できる 3. 抗がん薬の安全な投与管理と曝露対策について基礎知識を習得できる 4. がん薬物療法による主な副作用症状とセルフケア支援について理解できる 5. がん患者の生活を支える社会的支援や、退院・在宅療法支援に必要な看護を理解できる
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・実務経験2年以上 ・日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※ ・eラーニングによる受講が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	100名(先着順)
研修方法	eラーニング(オンデマンド配信)による講義
オンデマンド 配信期間	2026年7月6日正午～8月3日正午
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
修了要件	講義eラーニング全て受講、確認テスト合格
受講推奨環境	ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎編 申込	
申込期間	2026年6月1日正午～6月22日正午(定員になり次第、申込は終了します)
申込方法	申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください https://x.gd/06cgK 
受講方法	受講方法は、申し込み時に自動返信されるメールに添付いたします。 自動返信メールが届かない場合は、問い合わせ先までご連絡願います。

2026 年度 がん看護研修Ⅱ がん薬物療法看護コース 基礎編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5 分	がん看護専門看護師 山本 陽子
がん薬物療法概論Ⅰ	がん薬物療法の基礎知識 ・薬物療法の目的、適応基準、標準治療 ・効果判定、有害事象の評価、スペシャルピキュレーションなど	50 分	化学療法部医師 下方 智也
がん薬物療法看護概論	がん薬物療法看護の考え方、看護師の役割 (セルフケア支援、チーム医療 など)	20 分	がん薬物療法看護 認定看護師 森田 まゆみ
がん薬物療法レジメンの特徴と看護	レジメンの理解 抗がん薬の投与前・中・後の看護のポイント	45 分	がん化学療法看護 認定看護師 濱 昌代
投与管理と リスクマネジメント	血管外漏出の予防と発症時の対処法	20 分	森田 まゆみ (前掲)
	抗がん薬の曝露対策	35 分	森田 まゆみ (前掲)
がん薬物療法に伴う 副作用症状とセルフ ケア支援	過敏症・インフュージョンリアクション	30 分	森田 まゆみ (前掲)
	骨髄抑制	30 分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
	悪心・嘔吐	30 分	濱 昌代 (前掲)
	便秘・下痢	30 分	乳がん看護 認定看護師 井馬 里海
	脱毛	15 分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理
がん医療政策と社会的支援	がんの医療政策 がん医療に伴う経済的問題 (治療費、就労問題など) がん患者・家族が活用できる社会資源	50 分	医療ソーシャルワーカー 森田 美妃 がん相談員 乾 由紀
がん患者の意思決定支援	患者・家族へのインフォームド・コンセント がん治療・療養過程における患者・家族の意思決定支援	40 分	山本 陽子 (前掲)
がん患者の退院支援	退院支援の特徴とプロセス 退院支援・在宅療養支援に必要なアセスメント 活用できる診療報酬と社会福祉資源	30 分	訪問看護認定看護師 野島 祐子
がん患者の在宅療養支援	がん患者の在宅医療と訪問看護、在宅ケアの特徴 在宅療養におけるチームアプローチ 事例紹介	50 分	訪問看護ステーション 太陽・高蔵寺 訪問看護認定看護師 丹波 ちひろ

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編 研修計画	
研修目的	緩和ケアの重要性を理解し、がん患者と家族を全人的に捉えて緩和ケアを理解できる
一般目標	1. 緩和ケアの基本となる概念を理解し、症状緩和や意思決定を支援するための基本的知識を習得する 2. 多様な状況にあるがん患者を支援するための基本知識を習得する
行動目標	1. がん患者と家族の全人的苦痛のアセスメントに必要な知識を習得できる 2. がん患者・家族の心理を学び、コミュニケーションスキルを理解できる 3. がん疼痛を緩和するための、看護援助を理解できる 4. がん患者の生活を支える社会的支援や、退院・在宅療養支援に必要な看護を理解できる
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・ 実務経験 2 年以上 ・ 日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ 以上※ ・ e-ラーニングによる受講が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの 5 段階
募集人数	100 名(先着順)
研修方法	e-ラーニング(オンデマンド配信)による講義
オンデマンド配信期間	2026 年 8 月 3 日正午～8 月 31 日正午
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、緩和ケアチーム医師および薬剤師など
修了要件	講義 e-ラーニング全て受講、確認テスト合格
受講推奨環境	ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編 申込	
申込期間	2026 年 7 月 1 日 正午～7 月 21 日 正午(定員になり次第、申込は終了します)
申込方法	申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください https://x.gd/ehZWB 
受講方法	受講方法は、申し込み時に自動返信されるメールに添付いたします。 自動返信メールが届かない場合は、問い合わせ先までご連絡願います。

2026 年度 がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース 基礎編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5 分	がん看護専門看護師 山本 陽子
緩和ケア概論	緩和ケアの定義と基本理念 トータルペイン（身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな苦痛）の理解	60 分	名古屋大学大学院 教授 佐藤 一樹
がん患者との コミュニケーションⅡ	がん医療における悪い知らせ コミュニケーションスキル	60 分	がん看護専門看護師 原 万里子
がん患者の家族への 援助	家族に及ぼす心理・社会的影響 家族のニーズ、家族が持つ問題 家族看護に関する理論の概要	45 分	原 万里子（前掲）
症状マネジメント 「がん疼痛」	がん疼痛のメカニズム、評価、治療	30 分	化学療法部医師 坪井 理恵
	がん疼痛の薬物療法	60 分	緩和ケアチーム 薬剤師 渡邊 美菜子
	がん疼痛のアセスメントと看護	30 分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理
がん医療政策と社会的 支援	がんの医療政策 がん医療に伴う経済的問題（治療費、就労問題など） がん患者・家族が活用できる社会資源	50 分	医療ソーシャルワーカー 森田 美妃 がん相談員 乾 由紀
がん患者の意思決定 支援	患者・家族へのインフォームド・コンセント がん治療・療養過程における患者・家族の意思決定 支援	40 分	山本 陽子（前掲）
がん患者の退院支援	退院支援の特徴とプロセス 退院支援・在宅療養支援に必要なアセスメント 活用できる診療報酬と社会福祉資源	30 分	訪問看護認定看護師 野島 祐子
がん患者の在宅療養 支援	がん患者の在宅医療と訪問看護、在宅ケアの特徴 在宅療養におけるチームアプローチ 事例紹介	50 分	訪問看護ステーション 太陽・高蔵寺 訪問看護認定看護師 丹波 ちひろ

がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編 研修計画	
研修目的	がん薬物療法の特性を理解し、薬物療法を受ける患者に必要な看護援助を実践できる
一般目標	がん薬物療法を受ける患者の包括的なアセスメントに基づいた看護援助を考え、実践に適用することができる
行動目標	1. がん薬物療法に用いる薬剤の特性について理解できる 2. がん薬物療法による主な副作用症状とセルフケア支援について述べることができる 3. がん薬物療法を受ける患者の状況を包括的にアセスメントして、必要な看護援助を理解できる
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・実務経験2年以上 ・日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※ ・名大病院主催のがん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース基礎編修了者(見込みを含む) ・eラーニングによる受講が可能 ・Zoomによるグループワーク参加が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	30名程度(先着順)
研修方法	・eラーニングによるオンデマンド配信 ・Zoomによるグループワーク
オンデマンド配信期間	2026年9月28日正午～10月26日正午
グループワーク日程	①2026年11月6日9:30-11:30 ②2026年11月6日12:30-14:30 受講決定後に通知する①②いずれかの時間で参加する グループ編成の関係上、時間の希望は受け付けていません
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
研修後課題	所属部署において本研修を活かした看護を実践し、レポートにまとめて提出する
修了要件	講義eラーニングすべて受講、確認テスト合格、グループワーク参加、研修後課題の提出
受講推奨環境	1) 講義:eラーニング(オンデマンド配信) ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください 2) グループワーク : Zoom カメラ・マイクを使用 Zoom のホームページで推奨環境を確認してください
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱがん薬物療法看護コース応用編 申込	
申込期間	2026年8月1日正午～8月20日正午 定員になり次第、申込を終了します
申込方法	申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください https://x.gd/qpPoH
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通して、受講の可否を郵送で連絡します 2026年9月14日までに通知がない場合は、問合せ先に連絡してください



2026 年度 がん看護研修Ⅱ がん薬物療法看護コース 応用編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5 分	がん看護専門看護師 山本 陽子
がん薬物療法概論Ⅱ	がん薬物療法薬の分類と作用機序、特徴 ・細胞障害性抗がん薬 ・分子標的治療薬 ・免疫チェックポイント阻害薬、免疫関連有害事象	60 分	化学療法部医師 下方 智也
投与管理とリスクマネジメント	抗がん剤投与におけるリスクマネジメント	30 分	がん化学療法 看護認定看護師 濱 昌代
がん薬物療法に伴う副作用 症状とセルフケア支援	口腔粘膜炎	20 分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
	皮膚障害（ざ瘡様皮疹・手足症候群など）	40 分	濱 昌代（前掲）
	免疫関連有害事象	30 分	がん薬物療法 看護認定看護師 森田 まゆみ
	グループワーク：事例検討（副作用とセルフケア支援）	60 分	山本 陽子（前掲）
	グループワーク：患者指導について	45 分	森田 まゆみ（前掲）
がん薬物療法を受ける 患者・家族のアセスメント	がん薬物療法を受ける患者・家族の置かれている状況 患者の身体的、精神的、社会的アセスメント	45 分	森田 まゆみ（前掲）
外来における がん薬物療法と看護支援	外来におけるがん薬物療法の現状と診療報酬 看護師の役割と他部門との連携	20 分	濱 昌代（前掲）

「東海がんプロ」インテンシブコースの同時受講に関するご案内

応用編 e-ラーニング視聴では、「東海がんプロ」の受講管理システムを利用します。そのため、本研修で付与される ID とパスワードを使用して、名古屋大学（医学）インテンシブコース「次世代がん医療」を受講することができます。この機会に「東海がんプロ」のインテンシブコースにもご登録ください。登録は無料です。

インテンシブコースに登録すると、名古屋大学医学系大学院や各種セミナーで行われたがん治療に関する講義をオンデマンド配信で自由に視聴できます。ID とパスワードが同じであるため、正式に「東海がんプロ」のコースに登録していなくてもコンテンツを視聴できますが、正式に登録することをおすすめします。

インテンシブコースへの登録を希望される方は、本研修応用編の申込みフォーム内の質問項目にご回答ください。

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース応用編 研修計画	
研修目的	緩和ケアの重要性を理解し、がん患者と家族を全人的に捉えて緩和ケアを実践できる
一般目標	がん患者と家族を全人的に理解し、包括的なアセスメントに基づいた看護援助を考え、実践に適用することができる
行動目標	1. がん患者のサバイバーシップに関する考え方が理解できる 2. 自己のコミュニケーションスキルについて振り返ることができる 3. がん患者のスピリチュアルペインを緩和するための看護援助を理解できる 4. がん性疼痛と疼痛以外の症状マネジメントについて習得し、がん患者の全人的苦痛を緩和するための看護援助を述べるができる
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・実務経験2年以上 ・日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ以上※ ・名大病院主催のがん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編修了者(見込みを含む) ・eラーニングによる受講が可能 ・Zoomによるグループワーク参加が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの5段階
募集人数	30名程度(先着順)
研修方法	・eラーニングによるオンデマンド配信 ・Zoomによるグループワーク
オンデマンド配信期間	2026年10月26日正午～11月24日正午
グループワーク日程	①2026年12月11日 9:30-11:30 ②2026年12月11日 12:30-14:30 受講決定後に通知する①～②いずれかの日程で参加する グループ編成の関係上、日程の希望は受け付けていません
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師など
研修後課題	所属部署において本研修を活かした看護を実践し、レポートにまとめて提出する
修了要件	講義eラーニングすべて受講、確認テスト合格、グループワーク参加、研修後課題の提出
受講推奨環境	2) 講義:eラーニング(オンデマンド配信) ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4 ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください 2) グループワーク : Zoom ・カメラ・マイクを使用 ・Zoom のホームページで推奨環境を確認してください
受講料	無料(通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース応用編 申込	
申込期間	2026年9月1日正午～9月24日正午 定員になり次第、申込を終了します
申込方法	申込フォーム(下記 URL または QR コード)より入力してください https://x.gd/DSMDo 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通して、受講の可否を郵送で連絡します 2026年10月13日まで通知がない場合は、問合せ先に連絡してください

2026年度 がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース 応用編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5分	がん看護専門看護師 山本 陽子
がん患者との コミュニケーションⅡ	グループワーク：コミュニケーションについて	45分	がん看護専門看護師 原 万里子
がんサバイバーシッ プの理解	がんサバイバーシップの考え方 がんサバイバーへの支援の基本	30分	乳がん看護 認定看護師 井馬 里海
がん治療における チームアプローチ	がん医療におけるチームアプローチの重要性 チームメンバーの役割と活動 チームアプローチにおける看護の役割	30分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理
症状マネジメント「が ん疼痛」	グループワーク：事例検討（トータルペインの理解）	60分	山本 陽子（前掲）
症状マネジメント	消化器症状	30分	宮嶋 真理（前掲）
	呼吸困難	30分	がん看護専門看護師 岡嶋 彩乃
	倦怠感	30分	岡嶋 彩乃（前掲）
	せん妄	30分	精神看護専門看護師 田中 千夏
スピリチュアルケア	スピリチュアルとは スピリチュアルペインとは	60分	山本 陽子（前掲）

「東海がんプロ」インテンシブコースの同時受講に関するご案内

応用編 e-ラーニング視聴では、「東海がんプロ」の受講管理システムを利用します。そのため、本研修で付与される ID とパスワードを使用して、名古屋大学（医学）インテンシブコース「次世代がん医療」を受講することができます。この機会に「東海がんプロ」のインテンシブコースにもご登録ください。登録は無料です。

インテンシブコースに登録すると、名古屋大学医学系大学院や各種セミナーで行われたがん治療に関する講義をオンデマンド配信で自由に視聴できます。ID とパスワードが同じであるため、正式に「東海がんプロ」のコースに登録していなくてもコンテンツを視聴できますが、正式に登録することをおすすめします。

インテンシブコースへの登録を希望される方は、本研修応用編の申込みフォーム内の質問項目にご回答ください。